

## 学生支援に関する方針

湘南工科大学は、ミッションとして掲げる「社会に貢献する技術者の育成」を達成するため、すべての学生の「やりたいことを、できることに。」が実現されるよう、学部ならびに大学院での学修と研究およびさまざまな活動に対して以下の支援方針を定める。

### 修学支援

- 新入生に対して、オリエンテーション、共通基盤科目でのグループワーク、コミュニケーションサークル（CC）での活動等を通して、本学の特色である協働学修の基盤づくりを早期に行う。
- 学修を円滑に進めることができるよう、CCならびにポートフォリオやSAMS（出欠確認システム）等のシステムを活用した状況把握に基づく指導と相談の仕組みを充実させ、活用する。
- 学修意欲を高め自主的な学びを促すために、ディプロマポリシーと対応付けた有機的なカリキュラム編成を行い、個々の授業の目的と相互の関係を明確に提示説明するとともに、学修成果を適切な形で可視化する。
- 高度な専門性を身につけようとする学生に対して、横断型先端分野学修プログラムを通じて低学年次からの研究への取り組みや学会発表等の機会を設けるとともに、大学院授業の先行履修制度等によって進学への意識を高める。
- 障がいを持つなどの理由により学修に対して特別な配慮が必要な学生に対しては、大学としてのガイドラインを定めた上で、個々の授業の担当教員だけでなくCCを通じた学科での対応および修学支援センターやスタディサポート等の全学的な枠組みも活用して、複層的な支援を行う。

### 生活支援

- 学生生活に関わる各種施設・設備を整備し、学生が安心して充実したキャンパスライフを送ることができる環境をつくる。
- 部活動、ボランティアなどの社会貢献活動、各種コンテストへのチャレンジ等を積極的に支援し、学生の自律的な成長への意識を高める。
- 各種奨学金や学内で得られる経済的支援についての情報提供および相談体制を整備し、学生が学業継続に対して抱く経済的不安を軽減する。
- 学生が健やかな心身を維持できるよう、保健室や学生相談室が教職員と連携し、必要に応じた配慮や対応を行う体制を構築する。
- 学生の人権を尊重し、大学で起こり得るあらゆる差別やハラスメント行為を防止するために、本学の対応方針をすべての学生と教職員に周知徹底する。

## キャリア支援

- 社会の多様化と学生の資質の変化に向き合い、工学を学んだ大卒者が社会で担う役割に対する固定観念にとらわれない、新たなキャリアパスの在り方を考える機会を提供する。
- カリキュラムの中に系統的なキャリア教育科目を配置することで、学生が大学での学修で身につけた知識や技術を社会でどのように生かすことができるかを考える機会を増やし、進路に対する意識を低学年次から高めていく。
- 学内でキャリア講座、卒業生講演、企業説明会などのイベントを適切な時期に行い、学生に進路選択について主体的に考え行動することを促す。
- 卒研指導教員や専門のアドバイザーによる面談等を通じて、それぞれの学生が自身の希望と適性に合った進路選択を行えるよう支援する。
- 特に大学院生に対しては、身につけた高度な専門性と研究能力を十分に生かすことのできる進路を目指せる支援体制を整える。

以上